

SUB1

POWERED BASS MODULE



(グリルを取り外した図)

製品概要

パワード仕様のポータブルベースモジュール、Sub1サブウーファーは、あらゆるポータブルPAと組み合わせることができ、40 Hzまでの低音域レスポンスを提供します。独自の7インチ×13インチハイクスカーションレーストラック型ドライバーにより、ウルトラスリムなエンクロージャーを実現。使いやすいサイズでありながら従来の12インチウーファーに匹敵するパフォーマンスを提供し、車やステージの場所を取ることもありません。Sub1はSub2サブウーファーよりもコンパクトで、Bose L1 Pro32システムに最適なサブウーファーオプションです。ケーブル1本のSubMatch接続で、シームレスに組み合わせることができます。複数のSub1サブウーファーを同時に使用することで、より豊かな低域を実現するとともに、カーディオイドモードを有効にして低音に指向性を持たせることもできます。Sub1は、どんな場所にも設置でき、豊かな低音を容易に実現できるサブウーファーです。

主な特長

ポータブルPAシステムにパワフルな低音を実現: 40 Hzまでの低域レンジを提供

スリムなデザインで車から会場までの搬入も簡単: 独自の7インチ×13インチハイクスカーションレーストラック型ドライバーにより、小型の設計でありながら従来の12インチウーファーに匹敵するパフォーマンスを実現

複数のSub1サブウーファーを同時に使用可能: より豊かな低域を実現するとともに、カーディオイドモードを有効にすれば、低音を集約して指向性を持たせ、前方に向けることで、フィードバックを抑制することが可能

Bose L1 Pro32 Portable Line Arrayとシームレスに組み合わせ可能: 独自のSubMatch接続により、1本のケーブルで電源とオーディオを同時に接続可能

他のパワードスピーカーと組み合わせ可能: ライン入力/出力と選択可能なクロスオーバーモード、ねじ式ボールマウントにより、Bose S1 Pro PAなどのスピーカーと組み合わせ使用できます。

技術仕様

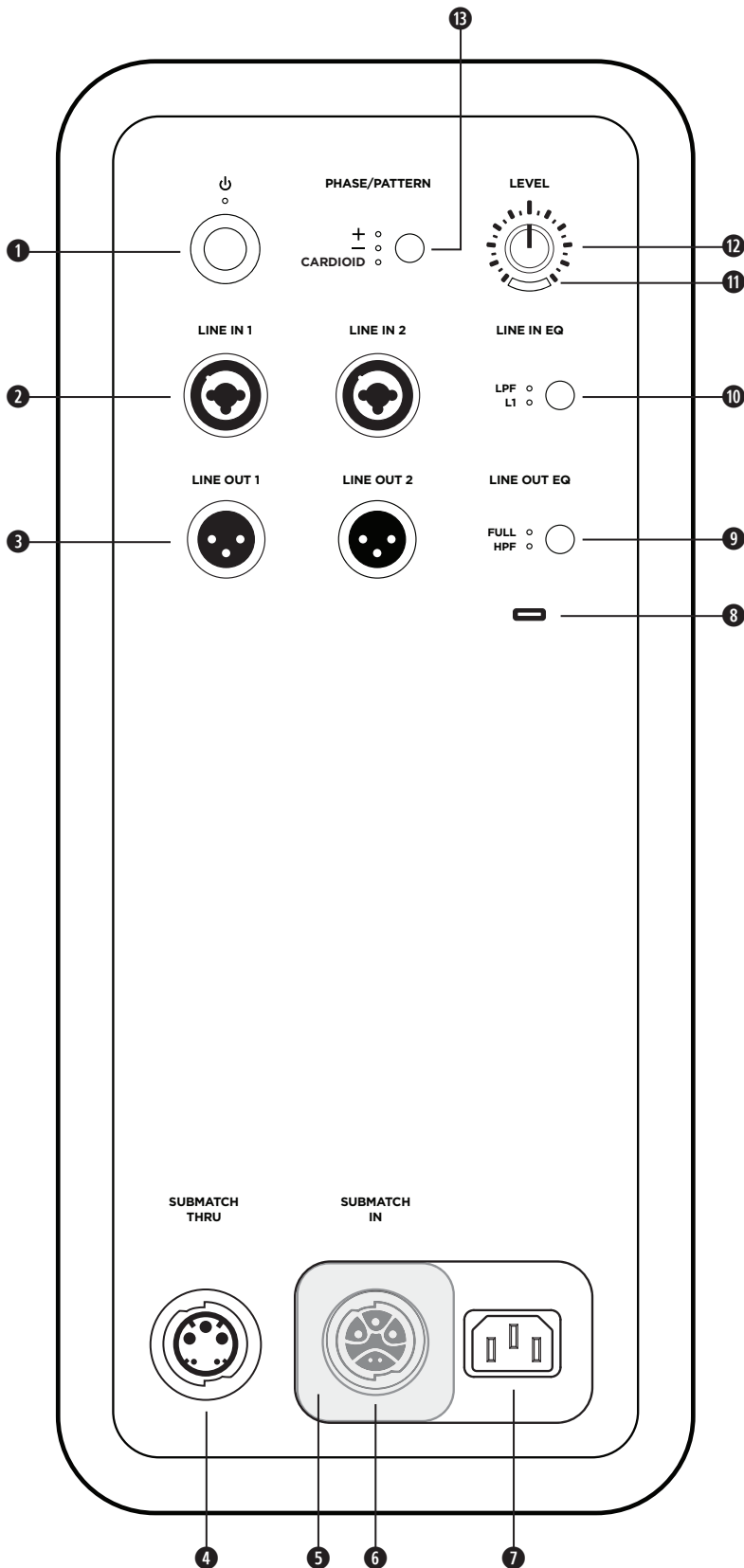
| システム性能 | |
|-------------------------------------|--|
| モデル名 | Sub1 |
| システムのタイプ | 電源内蔵ベースモジュール |
| 周波数特性(-3 dB) ¹ | 40 Hz~180 Hz |
| 周波数レンジ(-10 dB) | 32 Hz~250 Hz |
| 公称垂直カバレッジパターン | 0° |
| 公称水平カバレッジパターン | 無指向(カーディオイドモードでは-10 dBのリアリジェクション) |
| 最大音圧レベル(連続、@1 m、計算値) ² | 118.6 dB |
| 最大音圧レベル(peak、@1 m、計算値) ² | 124.6 dB |
| クロスオーバー | 200 Hz |
| トランスデューサー | |
| 低域 | 7インチ×13インチレーストラック型低域ドライバー(x 1) |
| 低域ボイスコイルサイズ | 2インチ |
| ドライバー保護 | ダイナミックリミッター式 |
| アンプ | |
| タイプ | D級 |
| 低域アンプチャンネル | 480 W |
| 冷却 | 対流冷却 |
| オンボードミキサー | |
| チャンネル | 2 |
| チャンネル1および2の入力: オーディオタイプ | コンボ(XLRまたは1/4インチTRS)コネクター(マイク/楽器/ライン) |
| チャンネル1および2の入力: インピーダンス | 100 KΩ |
| チャンネル1および2の入力: チャンネルゲイン | +10 dB~+45 dB、入力からドライバーまで、音量ノブで調節 |
| チャンネル1および2の入力: 最大入力信号 | +24 dBu |
| チャンネル1および2の出力: オーディオタイプ | XLRコネクター、ラインレベル、全周波数帯域 |
| SubMatch入力: オーディオタイプ | ボーズ独自のマルチピンケーブル |
| SubMatchスループット: オーディオタイプ | ボーズ独自のマルチピンケーブル |
| LEDインジケーター | スタンバイ、フェイズ/パターン選択、入力EQ選択、出力EQ選択、シグナル/クリップインジケーター |
| 電源 | |
| AC電源入力 | 100~240 VAC(±20%、50/60 Hz) |
| 入力: 電力タイプ | IEC、SubMatch |
| 初期起動時突入電流 | 14.9 A(120 V)、29.3 A(230 V) |
| 5秒間のAC電源中断後の突入電流 | 5.8 A(120 V)、32.0 A(230 V) |

技術仕様

| エンクロージャー | |
|-----------------|--|
| 色 | ブラック |
| エンクロージャー材質 | 耐衝撃性ポリプロピレン、パーティ合板 |
| グリル材質 | パウダーコーティングを施した有孔スチール |
| 製品寸法(H x W x D) | 533 x 260 x 529 mm |
| 梱包寸法(H x W x D) | 620 x 620 x 330 mm |
| 質量 ³ | 15.5 kg |
| 梱包質量 | 18.0 kg |
| 保証期間 | 2年 |
| 付属品 | IEC電源コード、スリップカバー |
| オプションのアクセサリ | Sub1 Roller Bag、Adjustable Speaker Pole、SubMatch Cable |
| 製品の部品番号 | |
| 840918-1100 | SUB1 POWERED BASS MODULE,120V,US |
| 840918-2100 | SUB1 POWERED BASS MODULE,230V,EU |
| 840918-3100 | SUB1 POWERED BASS MODULE,100V,JP |
| 840918-4100 | SUB1 POWERED BASS MODULE,230V,UK |
| 840918-5100 | SUB1 POWERED BASS MODULE,230V,AU |
| 840918-5130 | SUB1 POWERED BASS MODULE,230V,INDIA |
| 856985-0110 | PREMIUM ROLLER BAG,SUB1,BLACK |
| 857172-0110 | SUBMATCH CABLE,BLACK |
| 857000-0110 | SPEAKER STAND,SUB POLE,BLACK |

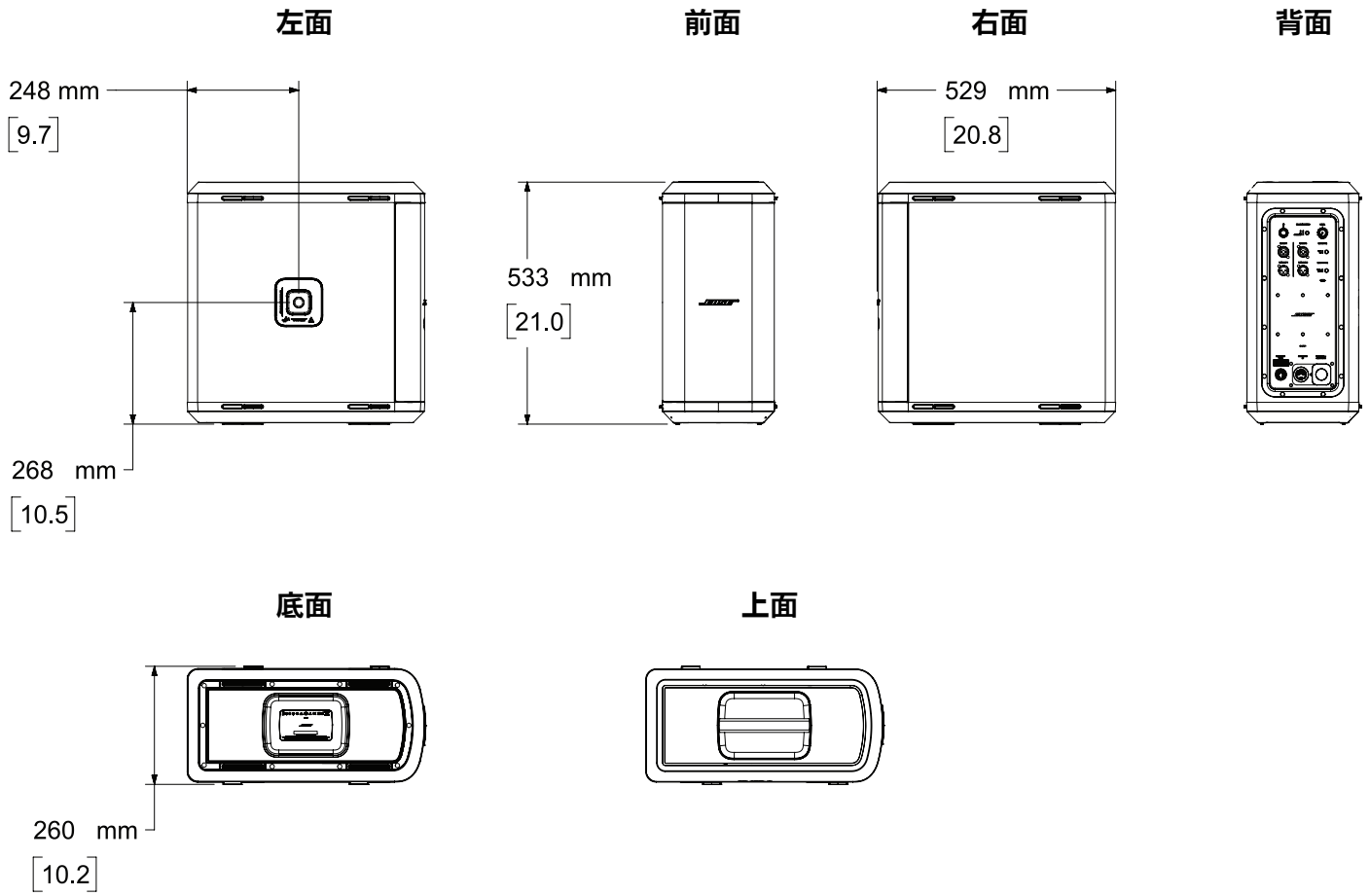
脚注:

- (1) 無響空間内の軸上で、バンドパスとEQを使用して測定した周波数特性および周波数レンジ。
 (2) 感度および許容入力に基づき、電力圧縮を除外して計算した最大音圧レベル。
 (3) 質量には、スリップカバーと電源コードは含まれません。



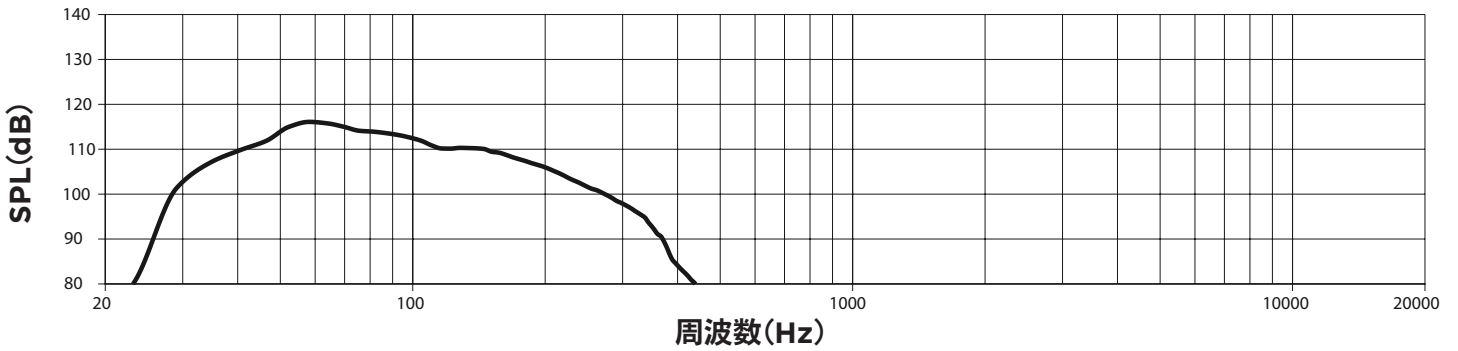
- ① **スタンバイボタン:** ボタンを押して、Subの電源をオンにします。ベースモジュールの電源がオンになると、LEDが白く点灯します。
- ② **ライン入力:** L1 Proまたはその他のラインレベル音源を接続するアナログ入力です。XLR/TRS バランスケーブル、またはTSアンバランスケーブルに対応しています。
- ③ **ライン出力:** XLRケーブルを使用して、スピーカーにラインレベル出力を接続します。
- ④ **SubMatchスループット:** SubMatchケーブルを使用して、追加のベースモジュールを接続します。SubMatch接続では、1台のL1 Pro32から最大2台のSub1、Sub2 Powered Bass Moduleに電源を供給できます。
- ⑤ **電源入力カバー:** SubMatch入力と電源入力の同時使用を防ぎます。カバーをスライドすると、セットアップに必要な電源入力があります。
- ⑥ **SubMatch入力:** SubMatchケーブルを使用して、ベースモジュールをL1 Pro32に接続します。
- ⑦ **電源入力:** IEC電源コードを接続します。
- ⑧ **USBポート:** ボーズのサービスおよびファームウェアの更新に使用するUSB-Cコネクタです
注: このポートはThunderbolt 3ケーブルには対応していません。
- ⑨ **ライン出力EQ:** ライン出力の使用時に、全帯域または多目的のHPFのいずれかを選択します。ボタンを押してEQ設定を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
- ⑩ **ライン入力EQ:** ライン入力の使用時に、L1 Proに最適化されたEQまたは多目的のLPFのいずれかを選択します。ボタンを押してEQ設定を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。
- ⑪ **シグナル/クリップインジケータ:** 信号を受けている場合はLEDが緑に点灯し、信号がクリップしたり、リミッターが適用されると赤く点灯します。チャンネルまたは信号の音量を下げることで、信号のクリッピングやリミッターの適用を防ぐことができます。
- ⑫ **レベルコントロール:** オーディオ出力のレベルを調節します。レベルコントロールはライン出力には影響しません。L1 Pro32と使用する際には、12時の位置に設定することをお勧めします。
- ⑬ **フェイズ/パターンボタン:** ベースモジュールの極性を切り替えます。ボタンを押して極性を切り替えます。選択中は対応するLEDが白く点灯します。2台の同じベースモジュールを使用する際には、カーディオイドモードを使用することもできます。

製品寸法



性能

周波数特性(軸上)



設計者とエンジニアのための仕様概要

この製品は、シングルドライバーのサブウーファーです。内部電源供給のパワーアンプとアクティブEQを搭載し、複数の動作モードを利用できます。詳細は以下のとおりです。

このサブウーファーは、ポート付きベースエンクロージャーに搭載されたモジュール式の7インチ×13インチレールトラック型低域ドライバーで構成されています。

スピーカーの公称水平ビーム幅は無指向です(カーディオイドモードでは-10 dBのリアリジェクション)。公称水平カバレッジは0°です。トランスデューサーのパワー増幅は、480 W(低域トランスデューサー)を提供する、一体型のシングルチャンネルオンボードアンプによって供給されます。

オンボードデジタルミキサーは、2つの入力チャンネルで構成されています。各入力チャンネルには、コンボ(XLRまたは1/4インチTRS)コネクタ(ラインレベル)を搭載し、ローパスフィルター/L1最適化のEQプリセットを選択できます。さらに、各入力チャンネルには、XLRラインレベルコネクタ(バランス)を備え、全帯域/ハイパスフィルター/S1 Pro最適化のEQプリセットを選択できます。デジタルミキサーは、マスター出力レベルコントロールと、プラス極性/マイナス極性/カーディオイドモードを切り替えるフェイズ/パターンコントロールを備えています。サブウーファーは、マルチピンSubMatch入出力コネクタを備え、Bose SubMatchケーブルを使用して、L1 Pro32から供給された電源を別のSub1、Sub2に供給することができます。

サブウーファーのエンクロージャーは、耐衝撃性ポリプロピレンおよびバーチ合板製です。サブウーファーは、ポールマウント用M20ネジインサートを備えており、Bose Sub1/Sub2 Adjustable Speaker Poleを使用することができます。サブウーファーは両側に4つの脚部を備えており、もう一台のSub1を連結することができます。

サブウーファーの寸法は、533 mm H x 260 mm W x 529 mm Dです。質量は、15.5 kgです。

サブウーファーの正式名称は、Bose Sub1 portable powered bass moduleです。

安全上のコンプライアンス

Sub1 powered bass moduleは、次の標準に準拠しています。

- UL/IEC/EN62368-1 Audio/Video, Information and Communication Technology Equipment
- Ecodesign Requirements for Energy Related Products Directive 2009/125/EC
- Radio Equipment Directive 2014/53/EU
- CAN ICES-3 (B)/NMB-3(B)
- FCC Part 15 Class B

Bose、L1、およびToneMatchは、Bose Corporationの商標です。その他すべての商標は所有権を保持する各社に帰属します。

仕様および設置についての詳細は、[PRO.BOSE.COM](https://www.bose.com)を参照してください。
仕様は予告なしに変更される場合があります。2021年10月